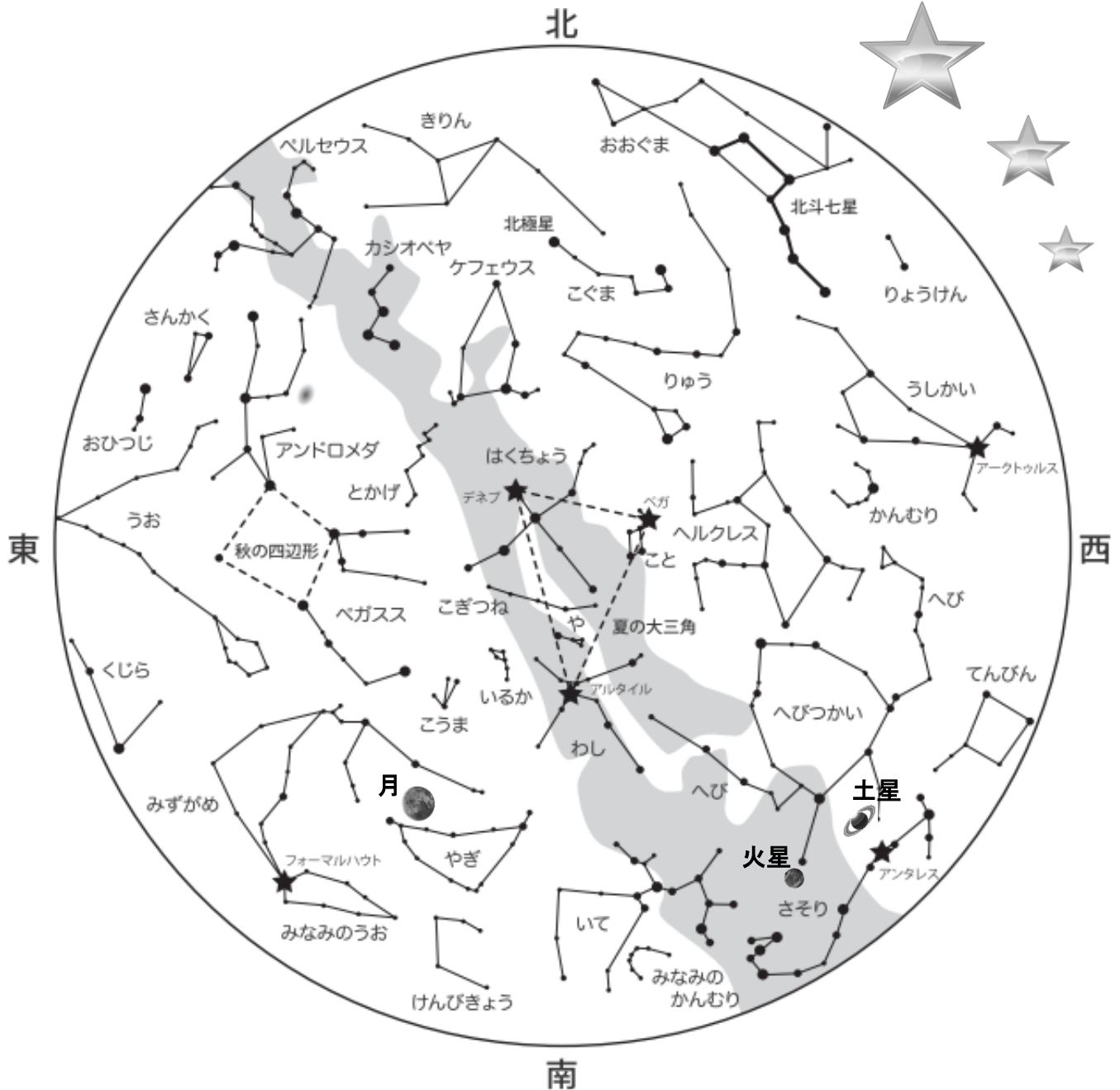


松江市立天文台～9月の天文教室～

平成28年9月14日

9月中旬午後8時頃の星空～



季節は日に日に秋の色合いを帯びてきました。

夕暮れの空は、まだ夏の星座が見えていますが、東に目を転じると秋の星座も顔を出し始めています。夏の三角形と、秋の四辺形を同時に見つけるチャンスです。是非探して見てください。

そして明日15日は、中秋の名月にあたります。

澄んだ空気の中で月をながめたいですね。

9月中旬午後8時頃の星空です。

月や土星、火星の位置は9月14日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

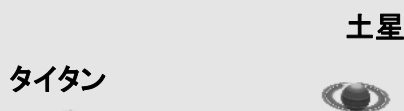
今夜の月は月齢13、明日は中秋の名月です。
中秋とは旧暦の8月15日のことで、秋のまんなかの意味だそうです。
旧暦は月の運行をもとにした暦(こよみ)で、毎月15日は満月かそれに近い月となります。明日は月齢14で、満月の2日前の月が見られます。



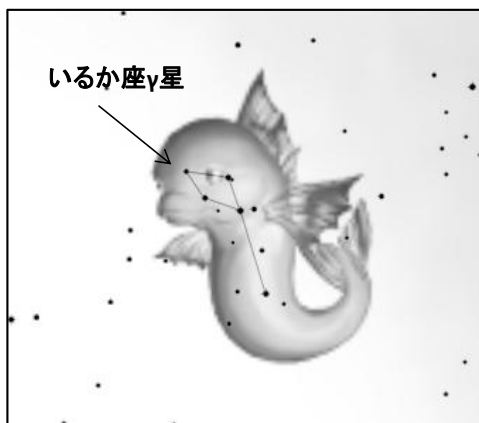
土星

土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。
リングの正体は、数mmから数10cmの水や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。
土星の衛星(えいせい)タイタンも見ることができます。
この夏、火星とともに南の空で神秘的な姿を見せてくれた土星も、日暮れから間もなく沈むようになり、観察がむつかしくなってきました。

天体望遠鏡で見た土星



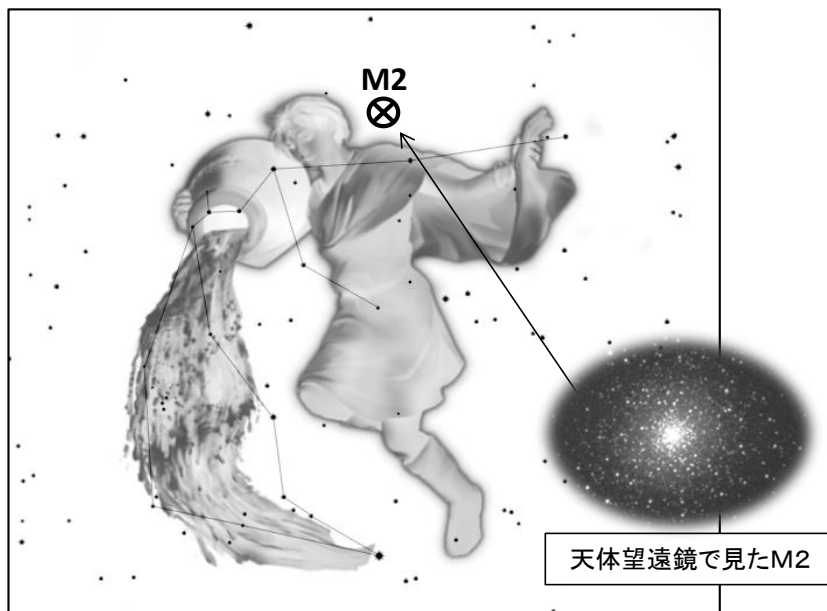
いるか座



いるか座は夏の大三角の近くにありますが、明るい星はありませんが、形が小さくまとまっているので、比較的見つけやすい星座です。

この星座のγ(ガンマ)星は、天体望遠鏡で見ると二つの星に分かれて見えます。星の色の対比が美しい二重星です。

みずがめ座



天体望遠鏡で見たM2

みずがめ座は、星占いにも登場する星座ですが、あまり明るい星が無いので、街明かりの中では、見つけにくいかもしれません。

M2は、たくさんの星がボールの様に密集している球状星団で、天体望遠鏡では、丸い雲のように見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 10月12日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会